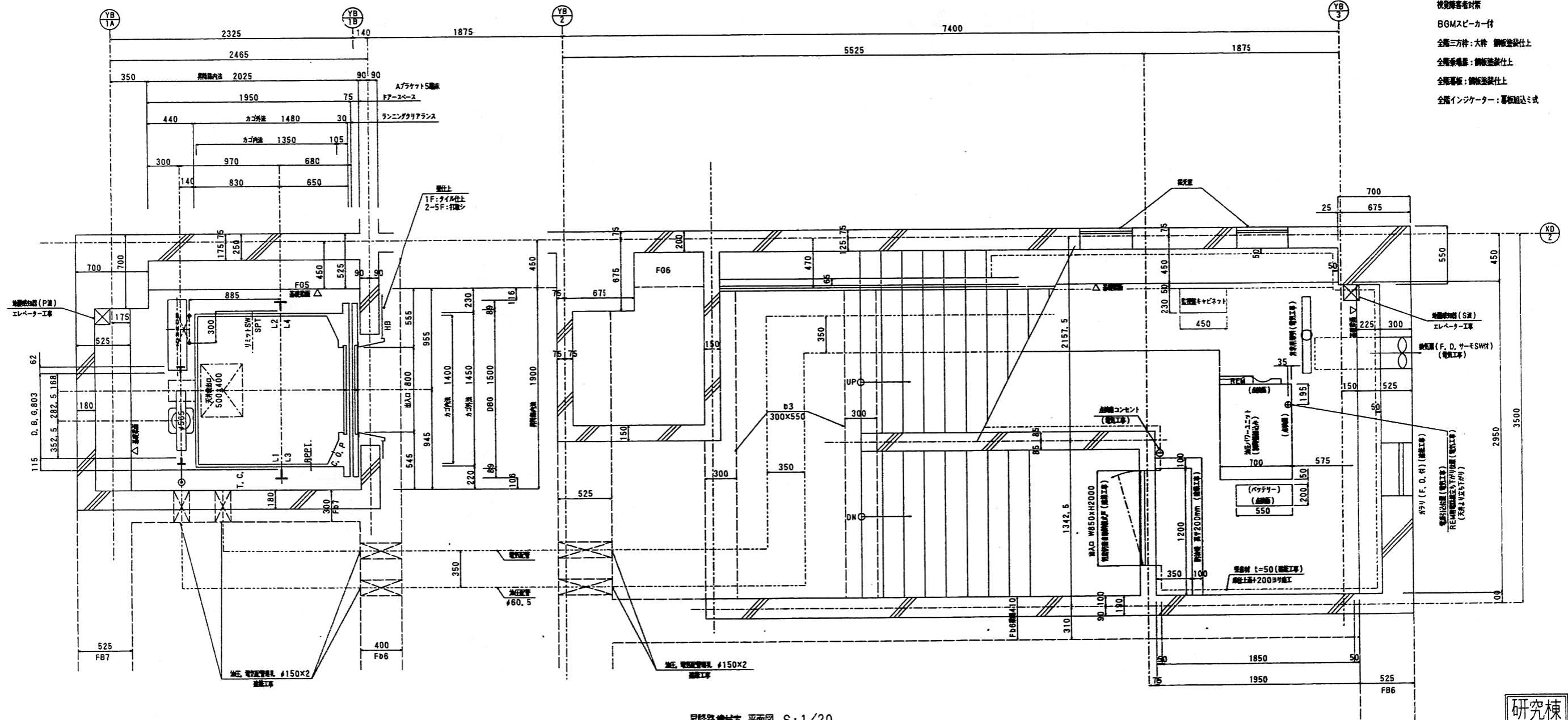


下記事項は施工側にて御施工ください

1. エレベーター機械室の構造	2. エレベーター昇降路の構造	3. 電気設備	4. 建築工事	5. その他	建物にかかる荷重 (kg)	概略仕様 (上段 5段, 下段 4段)			
イ. 採光及び換気有効開口部又は換気設備を設けてください。 本エレベーター 1 台の機械室内発熱量は約3000 Kcal につき室高が40cm以上とせらるべきです。 換気は防火ダンパー付のガラリ又はファン (サーモスタット付) を有効な位置に設けてください。 採光窓はスチールガラスの網入りガラスとしてください。 出入口 (甲種防火戸) は直接出来る自閉式防火戸 (防音扉) としてください。 八. 防油漏れタンクの油が全量漏れても室外へ漏れしない構造としてください。 二. 防音対策のための騒音、吸音材の施工をお願いします。	イ. 凸凹のない耐火構造の壁としてください。 ロ. 昇降路はレールブラケット取付用のボルト及びアンカーボルトが密着せられる構造としてください。 ハ. 下記に示す重量を確保し得る防水ビッドとしてください。 カーブアップ 6350 kg 短期荷重 シリンダー 4600 kg 長期荷重	イ. 本エレベーター 1 台に対する電気設備は 電力電圧 3φ 3W 200V 60Hz (23 KVA) 電線 38 mm ² ×3 アース線 8 mm ² ×1 (1 回線) 最大電流 12φ NFB 3P 125 Amp. かご駆動電圧 1φ 100V 1KW 非常電圧の昇降路外の配線配線工事 (CPREV 0.9mm ² 5P) 電線電圧の差動率は機械室電圧に於ては5%以内 電線直上又は昇降路内の標示位置に電線引出し長さ 2.5m ロ. 機械室照明 (採光窓がない場合は非常照明) を設けてください。 ハ. 機械室内外及びビッド内に点検用コンセント (1φ 100V) を設けてください。	イ. 昇降路上部にホイスティングビーム又はフックを設けてください。最大荷重 1000kg ロ. 機械室及び昇降路の壁に配管用の孔あけをお願いします。 ハ. 機械室床に重量コンクリート打設工事 (仕上げ厚み10cm) をお願いします。 ニ. 各層出入口三方取付用の開口工事をお願いします。 ホ. 三方弁及び取付後の配管の仕上り工事をお願いします。 ヘ. 各層出入口取付後の取付工事をお願いします。(必要の場合) ニ. 重量式の場合はシリンダー穴の掘削ならびに保護管 (ケーシング) の取付工事をお願いします。	昇降路及び機械室内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようお願いします。 機械室又は昇降路に関する建築基準法、自治体法令及び防火法、そしてその他の関係法令に基づいて施工するようお願いいたします。 自治体法令に定める昇降路天井の構造 (強固工事) の取付位置については別途お打合せください。 作動地 (第4層第4石巻線) の取付位置は *となります。	A= 用途 B= 質量 C= 高さ D= 停止箇所 E= 昇降行程 F= 操作方式	G= 乗用 H= 質量 I= 高さ J= 停止箇所 K= 昇降行程 L= 操作方式	用途 乗用 質量 高さ 停止箇所 昇降行程 操作方式	11台 750 kg (CEM 11台) 60 m.d.m. 5ヶ所 (1FL-SFL) 14000 mm 力能性全自動集合方式	かご内径 開口 1400mm 奥行 1350mm 出入口 幅 800mm 高さ 2100mm 戸の形式 2枚 両引戸 (電動式) 鋼索 φ 14.0 2本 (1F-2) 電機室 AC 18.5kW 駆動方式 交流可変周波数変換方式

- 特記仕様
- 地震時制御運転付 (S波) (P波)
 - 火災警報運転付
 - 停電時自動電源供給付 (バッテリー運転)
 - 車椅子仕様
 - 視覚障害者対策
 - BGMスピーカー付
 - 全層三方弁: 大径 鋼板塗装仕上
 - 全層乗降扉: 鋼板塗装仕上
 - 全層扉: 鋼板塗装仕上
 - 全層インジケータ: 専板組込ミ式

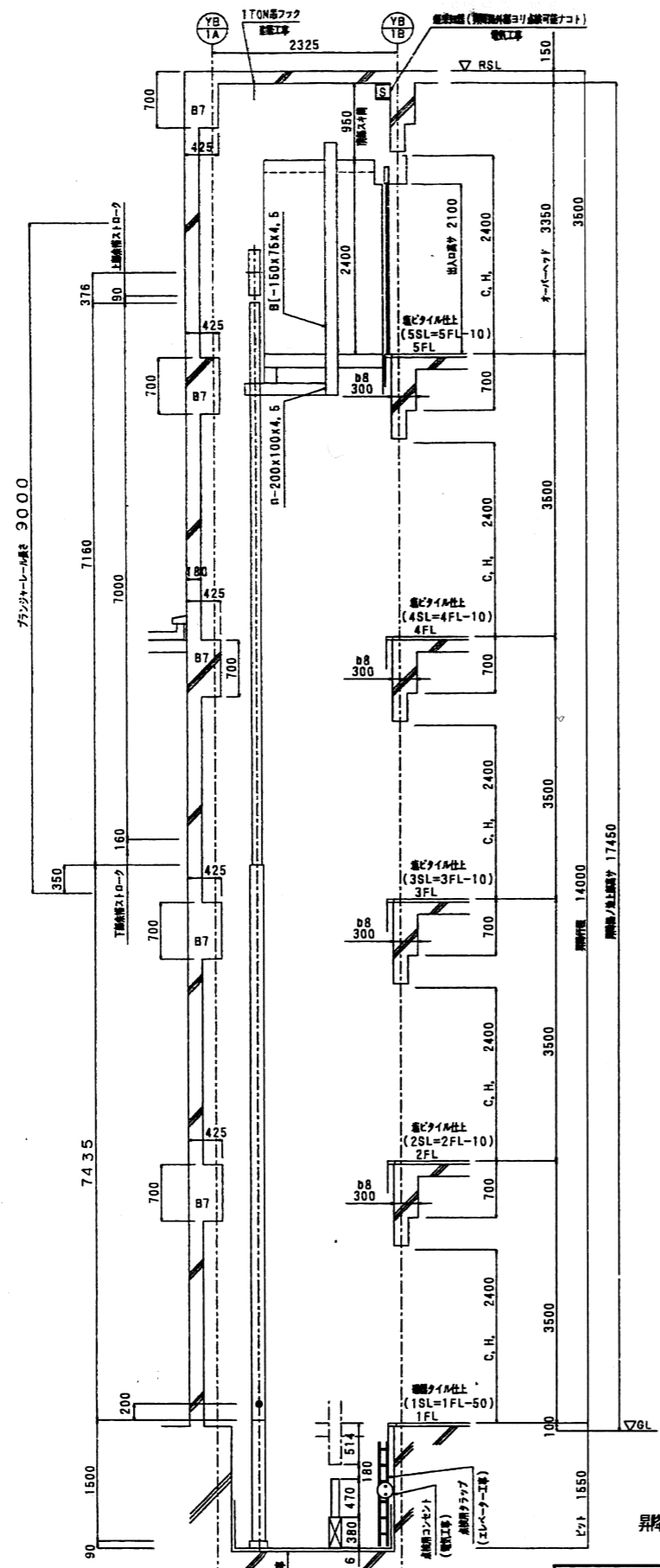


昇降路機械室 平面図 S:1/20

研究棟

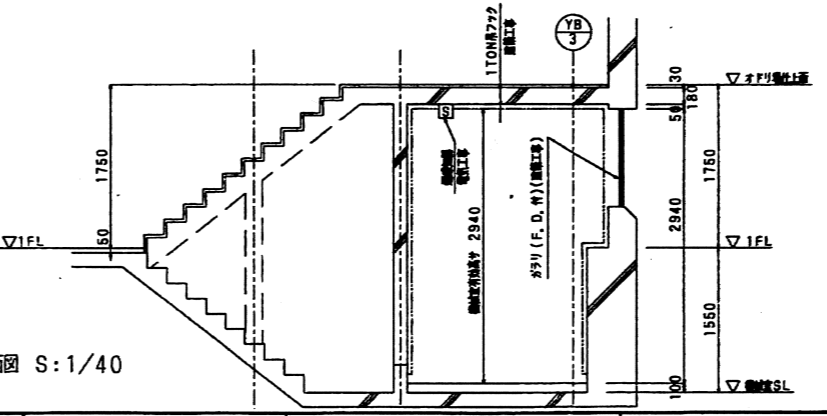
特記事項	変更記事	プリント記載	受領欄
※	変更内容未定 図面承認(元 95N-M-60309) 2/11/96	申請 3 3 3 承認 設計 1 監工 1 監理 1 合計 3 3 3 1 日付 95/11/21	この図面を受領しました 日付 95/11/21 印 電圧仕様 ●動力用電圧 1 回線 3相3線200V 60Hz ●照明用電圧 単相 100V
※	採算三訂正記、取付高変更 -A-		昇降路の大きさは図面示された寸法に対し前後に於て5%以内の誤差を以て正確に施工する

寄先名 (建物名)	三重県立大学 研究棟
所在地	三重県津市一身田古曾1631-2
施主・興手	三重県
設計・施工	(株)久米建築事務所、前田建設工業(株)
作図月日	95/11/21 決定月日 96-5-10
製図 汎編	原 重久
縮尺	1/20, 1/40
図面番号	56NK0593(N)



最大メインレール敷付間隔 2400
 (フォードリフト)
 最大ブランチジョイナーレール敷付間隔 3400

昇降機断面図 S:1/40



研究棟

量物にかかる荷重 (kg)	特記事項	変更記事	プリント記数
A=	G=	3L%	3 3 3
B=	H=	定価決定 別途決定(5N-M-6030TEL) アイト	
C=	I=		
D=	J=		
E=	K=		
F=	L=		
合計			3 3 3 1
日付			2/24/96

受領
 1996.1.11
 この図面を受領しました
 日付 1996.1.11 印
 昇降機の大さは表示せられた寸法に対し鉛筆にて
 2%以内の誤差を以って正確に施工する

受領
 1996.1.11
 専先名 (建物名) 三遠県看護大学 研究棟
 所在地 三遠県三遠市一身田大石第1631-2
 株式会社 久米設計
 業主・買手 三幸栄
 設計・施工 久米建築事務所 前田建設工業(株)
 作製日 95/11/21 決定日 96-5-10
 製 図 江崎 廣 重和久
 縮 尺 1/40
 資料番号 56NK0593(N)